

泌尿器科卒後臨床研修プログラム

I. 研修プログラムの目的及び特徴

泌尿器科は卒後研修の必須科目ではないが扱う臓器は腎臓から副腎、尿管、膀胱、前立腺と多く、疾患も悪性腫瘍をはじめ尿路感染症、ED、内分泌疾患と多岐にわたる。また前立腺癌をはじめ泌尿器科の扱う尿路、性器疾患は年々増加している。更にこれからの高齢化社会においては尿路管理に習熟することは必須条件と考える。

千葉県済生会習志野病院における泌尿器科の特徴は実際に初期診療、検査、手術を経験することによって泌尿器科疾患にたいする基本的知識、臨床能力および技能を修得することを目指す。

II. 研修プログラム責任者

プログラム総括責任者：三上和男(泌尿器科医長)

III. 研修指導医

研修担当責任者：三上 和男

指導医：関田 信之

藤村 正亮

IV. 研修プログラムの管理運営

研修期間中は指導医によって教育、評価が行われる。

V. 募集定員 2名

VI. 教育課程

1. 研修開始年度:平成 25 年 4 月 1 日

2. 期間割と研修医配置予定

済生会習志野病院泌尿器科で研修を行う。2 ヶ月以上の研修が望ましい。さらに 3-7 ヶ月の研修を選択することも可能である。

3. 一般目標

特殊な疾患を除いた泌尿器科疾患を理解する。当院は救急患者を全面的に受け

入れているので泌尿器科救急疾患の対処法も合わせて習得する。

4. 行動目標

- (1) 外来診察の問診を行なうことができる。
- (2) 腹部、男性生殖器の診察、前立腺の触診を行なうことができる。
- (3) 神経学的診察を行なうことができる。
- (4) 必要な検査を選択することができる。
- (5) 異常所見を具体的に述べることができる。
- (6) 診察所見を総合して、正しい診断にいたることができる。
- (7) 治療計画を具体的に述べることができる。
- (8) 患者さんや家族の心情に配慮することができる。
- (9) 守秘義務を理解し、これに即した行動がとれる。
- (10) 治療計画を具体的に述べることができる。
- (11) 治療の手順を理解し、準備をすることができる。
- (12) 注射、採血、小手術を行なうことができる
- (13) スタッフと良好なコミュニケーションを図ることができる。
- (14) 保健診療体制を理解し、これに即した診療ができる。
- (15) 院内感染を理解し、清潔な行為を行なうことができる。
- (16) 社会人としての節度ある服装や、行動をとることができる。

5. 経験すべき診察法・検査・手技

- (1) 研修すべき基本的な診察法
 - 1) 外来患者の問診を行う
 - 2) 腹部の診察を行う
 - 3) 神経学的診察を行う
 - 4) 男性外性器の診察、前立腺の触診を行う
 - 5) 必要な検査を選択する
- (2) 検査を指示し、結果を解釈できる基本的な臨床検査
 - 1) 一般検尿
 - 2) 尿細胞診検査
 - 3) 尿細菌学的検査
 - 4) 尿道・前立腺分泌物顕微鏡検査
 - 5) 一般血液検査
 - 6) 腎・前立腺・精巣癌マーカー
 - 7) 核医学的検査(レノグラム、骨スキャン)
 - 8) 経静脈的腎盂造影・膀胱尿道造影
 - 9) 泌尿生殖期画像診断(CT、MRI)
- (3) 基本的手技

- 1) 膀胱機能検査
 - 2) 失禁テスト
 - 3) 尿流量測定
 - 4) 残尿測定
 - 5) 腹部超音波検査
 - 6) 膀胱尿道鏡検査
 - 7) 逆行性尿管カテーテル挿入
 - 8) 導尿法
 - 9) 体外留置カテーテル交換
 - 10) 腎盂・膀胱洗浄
- (4) 基本的治療法
- 1) 薬物療法
 - 尿路感染症
 - 排尿障害
 - 尿路性器腫瘍(抗がん剤の効果、薬物有害事象の定量的評価)
 - 2) 自己導尿指導
 - 3) 排尿訓練の指導
 - 4) 泌尿器科の手術手技
- (5) 助手として参加する手術(基本的には全手術に参加する)
- 1) 観血的手術
 - 2) 内視鏡的手術(endourology)
 - 3) 腹腔鏡手術
- (6) 執刀医としての手術
- 1) 前立腺生検
 - 2) 精巣摘除術
 - 3) 精巣上体摘除術
 - 4) 皮膚・筋膜縫合術
- 研修期間によってはさらに高度な手術も考慮する。
- (7) 医療記録
- 1) 所見、応答、診療行為を POS に則って記載することができる。
 - 2) 検査データを整理することができる。
 - 3) 適切な紹介状を書くことができる。
 - 4) 診断書、死亡診断書を書くことができる。
6. 経験すべき症状・病態・疾患
- (1) 症状
- 1) 尿閉

- 2) 結石疝痛発作
- 3) 血尿
- 4) 膿尿
- 5) 排尿痛
- 6) 頻尿
- 7) 尿失禁
- (2) 疾患・病態
 - 1) 前立腺肥大症・前立腺癌
 - 2) 腎後性腎不全
 - 3) 腎・尿管結石
 - 4) 腎盂腎炎・前立腺炎、精巣上体炎
 - 5) 尿道炎
 - 6) 尿路性器腫瘍
 - 7) 尿路性器外傷
 - 8) 尿路性器奇形
 - 9) 男性性機能障害
 - 10) 副腎腫瘍
- (3) 特定の医療現場の経験
 - 1) 救急医療
 - 2) 予防医療
 - 煙草の害を理解し、禁煙指導を行なうことができる。
- (4) 地域保険・医療
 - 1) 前立腺癌集団検診に参加することができる。
- (5) 緩和・終末期医療
 - 1) 末期癌の患者さん・家族の心情に配慮し、全人的に対応することで、適切な緩和医療を行なうことができる。

VII. 週間スケジュール

	AM	PM
月	病棟 手術	手術

火	外来	病棟
水	病棟	検査 手術
木	手術	手術
金	病棟	検査

VIII. 評価方法

1. 研修医は、研修終了日に研修内容についての発表をおこなう。
2. 指導医により、各到達度目標に対する評価、総合評価が行われる。
3. 研修医は、各到達度目標に対する自己評価表を提出する。